

## II-1. まちの将来像



住民力・地域力を活かした「あったかす」なまちづくりは、町民の取り組みの積み重ねにより、この町の基盤となりつつあります。この強みを将来にわたって大切に継承しつつ、鷹栖町の良さや資源をもっと輝かせる「継続と前進」で、未来にわたって持続可能な次の鷹栖町をもう1度創り上げる10年間としていきます。

人口減少が進む今後の10年間において、住民主体のまちづくりの重要性は一層高まっています。ワークショップの開催などを通して、私たちは、都会や周囲と比較して「ないもの」を嘆くのではなく、足元の暮らしや資源を見つめなおし、「今ある」幸せや豊かさを再認識し、大切にしたいと気づきました。

まちづくりへの思いを次の言葉に凝縮し、今後10年間のキャッチフレーズとします。

### ◆まちづくりのキャッチフレーズ◆

# 笑顔 幸せ みんなでつくる あったかす



### 『笑顔 幸せ』

これまで積み重ねた、一人ひとりの「笑顔」を大切にするまちづくりを持続して一層高め、誰もがもれなく「幸せ」を実感できるまちを目指したい。このまちに生まれる一つ一つの笑顔が、つながって輪となり広がることで、すべての人が幸せに包まれるまちを実現したい、という思いを込めています。

### 『みんなで作る』

「笑顔」にあふれ「幸せ」を実感できる暮らし。それは他人任せで誰かがつくってくれるものではなく、町民や団体、行政など、それぞれみんなが意識を持って関わり合って創り上げていくものだという決意を、「みんなで作る」という言葉に込めています。

### 『あったかす』

たくさんの「笑顔」が広がり、「幸せ」にあふれるまちを、「みんなで作る」。その先には、町民一人ひとりが「このまちで暮らして良かった」と、「あったかす」を心から実感できる未来があるはずです。

鷹栖町は、あらゆる立場の町民、子どもからシニア世代まで一人ひとりの暮らしの希望を追求し、幸せを実感できる地域社会の実現を目指します。

## II-2. まちづくりへの決意



まちづくりとは、このまちに暮らす人の日常づくりです。未来に向けて日々の暮らしをより良いものへと創り上げるためには、「このまちに暮らす人が主体となって関わること」「町民と行政とが将来像を共有して寄り添いながら歩みを進めていくこと」が必要です。

私たちは次のとおり決意して、社会の変化に適応する10年間のまちづくりに取り組んでいきます。

### (1) 町民の決意 「まちの未来=自分の未来 まちづくりを我がごととして捉えます」

このまちに暮らす人の日常をつくっていく(=まちづくり)とき、主体となるのは、まちに暮らす人=町民です。人口減少と少子高齢化によって担い手が少なくなるなか、必要なサービスや機能を維持していくためには、一人ひとりの意識と行動によって、まちづくりへの参画総量を高めていくことが必要です。

町民一人ひとりが、まちづくりを「我がごと」として捉え、日常の暮らしをより良くするための行動を積み重ねます。小さな一歩であったとしてもできることから、その積み重ねが鷹栖町のまちづくりの大きなアクションへとつながります。

### (2) 行政の決意 「限られた財源を有効に活用し、資源を生かした創意工夫に取り組みます」

人口減少が前提となるこれからのまちづくりにおいては、その変化を正しく捉え、持続可能なまちの姿として未来の世代へバトンを受け継いでいくことが求められます。一方で、「(お金が・人が)ないからできない」ではなく、地域の資源に目を向けて、「こうすればできる」と、より一層の創意工夫によって地域の創生を進めていく姿勢が不可欠です。

現在の町民はもちろんのこと、未来の世代の町民の人生にも寄り添い、大きな時代の変化のなかで、これまで以上に財源の効率的な活用を心がけ、創意工夫によるまちづくりに取り組みます。

### (3) 連携の決意 「町民と行政、団体、民間組織など、チームで新たな風をおこします」

まちづくりへの参画総量を高めるためには、個々の活動を単に足していただくだけではなく、掛け合わせる「かけ算」によってその力を高めていくことが必要です。住民活動やNPO、企業、域外に住みながらまちづくり活動に関わる「関係人口」など、これまで以上に官民連携の視点をもって、あらゆる知恵や力を結集して、まちの魅力を高めていく姿勢が求められます。鷹栖町の目指す姿や魅力をチームとして共有し、共働していくことで、まちに新たな風を起こせば、その姿に共感した新たな担い手の参画も期待できます。

あらゆる関係、つながりを生かし、オール鷹栖で課題の克服に取り組む連携の視点を大切にします。



## II-3. 基本目標



町民がまちづくりを我がごととして捉え、町民と行政とで一緒になって取り組みを積み上げていくためには、町民にとってイメージがしやすい、わかりやすい計画とすることが大切です。

そのため、ワークショップなどの取り組みにおける町民意見から、町民の日常の暮らしにひもづく5つの視点を抽出しました。そして、その視点ごとに、関連する町民意見を集約化していくことで、それぞれの基本目標へと導きました。

鷹栖町の将来像を実現するために、以下の5つを基本目標とします。

視 点	基 本 目 標
<p>人</p> 	<p>▶ <b>あらゆる世代が幸せを追求する 人が輝くまち</b></p> <p>あらゆる世代の町民が、それぞれのニーズに応じて学びと成長を実現でき、誰もがふるさとへの誇りと愛着を実感できる、人が輝くまちづくりを進めます。</p>
<p>暮らし</p> 	<p>▶ <b>あらゆる人の希望に寄り添う 幸せな暮らしを実現するまち</b></p> <p>妊娠期から出産、子育て、子どもから高齢者まで、ライフステージのあらゆる場面で希望を叶えて笑顔で過ごせるまちづくりを進めます。</p>
<p>しごと</p> 	<p>▶ <b>あらゆる地域資源を活かす 幸せなしごとをつくるまち</b></p> <p>豊富な地域資源をあらためて磨き上げることで多様性のある力強い産業を構築し、すべての人が豊かな地域資源の恵みを実感できるまちを目指します。</p>
<p>環 境</p> 	<p>▶ <b>あらゆる安心を未来へとつなぐ 幸せな環境を持続するまち</b></p> <p>本町の魅力ある環境を守り育て、今この町に暮らす町民と未来のこの町に暮らす町民がともに、安心して生活を営むことができる環境を持続させていくという視点を持って、暮らしを支える基盤づくり、暮らしを豊かにする環境づくりを進めます。</p>
<p>交 流</p> 	<p>▶ <b>あらゆる人が関係して高めあう 幸せな交流があるまち</b></p> <p>大小さまざまな、あらゆる世代や立場の人が関わりあい、その活動が連なって大きな輪となるように、町内外につながりづくりを進めます。</p>